

平成28年度「全国学力・生活状況調査(6年生)」結果の概要について

平成28年4月19日(火)に小学校6年生を対象に実施されました「平成28年度全国学力・学習状況調査」の本市と本校の結果概要についてお知らせします。

ただし、これらの調査は、あくまでもそれぞれの学校が子どもの学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的に実施されています。本調査で測定できるのは、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面にすぎません。しかし、結果をもとにして、学力の向上に向けた一層の指導上の工夫改善を努めていきたいと考えています。

【本校6年生の「全国学力・学習状況調査」結果の概要】

平成28年度全国学力・学習状況調査 平均正答率(%)

教科	国語A	国語B	算数A	算数B
本校	74	61	80	50
尼崎市	70	55	77	45
兵庫県	73	58	78	47
全国	73	58	78	47
全国との差	+1	+3	+2	+3

※ Aは主として知識、Bは主として活用の問題

<本校6年生の結果より>

国語A・B、算数A・B、ともに全国平均正答率を上回っていました。

※国語

・A問題

○過去3年間、漢字の書き取りが3問中2問が低い正答率でしたが、今年度はほぼ全国平均の正答率もしくはそれを上回っていました。昨年の3学期から、昼の学習で週1回漢字の書き取りに取り組んだ成果だと思えます。この取り組みを今後も継続させます。

△今年度、“ローマ字を書く・読む”問題が出題されました。すべて全国正答率を下回りました。今後、学習の中で、ローマ字の規則性をしっかり押さえ、繰り返し読んだり書いたりする機会を増やしていきます。

・B問題

○昨年度の問題で“何十字以内で書く”という問題が約半数という正答率でしたが、本年度は正答率が上がりました。授業の終わりに、“学習のふりかえり”を書かせる取り組みの成果が表れていると思えます。

△インタビューメモを作成した際に工夫した点を捉える、どのような意図で質問をしているかという問題で、若干全国平均正答率を下回りました。普段の学習での発表やグループ討議などで、相手の話を注意深く聞くことをより徹底して指導していきます。その際、相手の意図は何か、自分の考えとの共通点や相違点は何かなどを具体的な観点として指導していきます。

※算 数

・ A問題

○昨年度は図形に関する問題の正答率が低かったのですが、今年度は、全国平均正答率とほぼ同様もしくはそれを上回っていました。

△単位量当たりの大きさの求め方に関する誤答が、全国平均より多かったです。

ただ単に立式するのではなく、自分なりに具体的に図をかいたりし、それと関連づけて立式するということを学習の中で繰り返し指導していきます。

・ B問題

○昨年度は図形に関する問題の正答率が低かったのですが、今年度は、全国平均正答率とほぼ同様もしくはそれを上回っていました。

△40mハードル走の目標タイムを求める式(40m走のタイム+0.4秒×ハードル数=目標タイム)の“0.4”は、どのような時間を表しているかを言葉や数を使って書くという問題の誤答率が高かったです。普段の学習において、ただ立式するだけでなく、友だちが考えた式や示された式について、その数値はどこから導きだされたのか、その数値に対してどのような演算をおこなっているかを考える場面を適宜設けていきます。

※学習状況調査について

○全国より大幅に高かった主な項目

- ・将来の夢や希望を持っていますか。
- ・家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか。
- ・あなたは学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っただけで学級のきまりなどを決めていきますか。
- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか。

△全国より大幅に低かった主な項目

- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか。